

自他の生命の大切さやかけがえのない生命について自覚を深め、よりよく生きようとする意欲や態度を育む

《幼・小・中・義務教育学校の教育活動》

生きる喜びにふれる / 生命の尊さを知る / かけがえのない生命について考える / よりよく生きることを求める

健康教育 ●健康と命の大切さ、命の誕生、性に関する理解	いじめ防止・不登校支援の教育 ●温かい人間関係づくり、居場所と絆づくり	自殺予防教育 ●SOSの出し方教育、性被害から守る予防教育	心の教育 ●生命尊重、生きる喜びを実感する体験活動
《体育・保健体育》 ・思春期にあられる変化<小4年> ・薬物乱用と健康被害<小6年> ・生殖機能の成熟<中1年> ・異性の尊重と性情報への対処<中1年> ・薬物乱用の害(依存症)と健康<中3年> ・災害時対応、心肺蘇生<中2> 《技術・家庭科》 ・幼児の発達と生活、家族<中3年> 《特別活動(学級活動)》 ・新しい命の誕生<小中> *産婦人科医、新生児内科医による講話 ・正しい性の理解<小中> ・防災教育<小中>	《温かい人間関係づくり》 ・協働的な学びによる学習内容の確実な定着 ・児童/生徒会活動を通じた集会活動、異学年、校種間等の交流 ・見守り活動等地域と連携した活動 《心の居場所づくり》 ・あったかい言葉かけ県民運動を活かしたいじめの未然防止のための居場所づくり・絆づくり ・家族や地域とのふれあいを通じた絆づくり 《教育相談等のサポート体制づくり》 ・SC、S相やSSW等を活かす相談体制の整備 ・校内教育支援センターの設置推進(ガイドブックや事例集の活用) ・校外教育支援センターやフリースクール等との連携による学習保障(ガイドライン更新予定)	《SOSの出し方・受け止め方に関する教育》 ・SOSの出し方に関する教育のガイドブックの周知及びSCを活用した「SOSの出し方に関する教育」の実施(ロールプレイ、小中学生用啓発教材、自殺予防啓発動画の活用等) ・24時間相談可能電話窓口やSNS相談などの周知 《性被害から守る予防教育》 ・「セーフティファイブとプライベートゾーン」教育 ・心と身体を守る「くもくん教室」(県警) ・「生命(いのち)の安全教育」教材の活用 《教員・保護者研修》 ・性被害、児童虐待等の防止(県警との連携) ・司法面接と初期対応の研修/DVD ・児童虐待等の認知時における初期対応	《道徳教育・人権教育》 ・外部講師の参画、体験活動や討議等を取り入れた教育活動の工夫、道徳科の授業改善 ・全教育活動を通じた人権教育の推進 《体育・保健体育》 ・心と体のつながりを考える<小5年> ・心の発達、欲求と心の健康<中2年> 《特別活動(学校行事、学級活動)》 ・芸術文化活動を通じた情操の涵養 ・多様な生き方への気づきの喚起 《総合的な学習の時間》 ・医療等の専門家と共に考えるかけがえのない生命とよりよく生きること(小中) ・地域の方から学ぶ「ふるさと教育」

《西濃教育事務所の主な取組》

■魅力ある学校づくりとしての授業改善推進

・事前相談を含む要請訪問、「座談会」や「授業づくり相談会」を充実させ、「個別最適学」や「協働的な学び」が一体的に充実し、ICTが効果的に活用される「主体的・対話的で深い学び」のある授業の実現を目指す。

・「考えを広げ深める対話活動」に重点を置き、指導の方途等について、各種訪問、研修会等で助言する。また、教科等の指導を、生徒指導の実践上の視点(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成)から価値付け、方向付けする。

・要請訪問(教科、特別活動、総合的な学習の時間等)において、管理職や研究主任、研修主事等に「ぎふ、いのちの教育」について啓発を図り、取組を確認する。

・道徳教育計画訪問において、市町(組合)教育委員会担当者同席のもとでの「いのちの教育」を視点にした協議会を位置付け、参加校(中学校区)の「自己有用感、夢や希望、生命尊重の心」を育む取組の交流、価値付けをするとともに、今後の取組の確認を行う。

■魅力ある学校づくりにつなげる研修実施

・経年研修や職務研修、教育課程研究協議会等において、「健康教育」「いじめ防止・不登校支援」「自殺予防教育」「心の教育」の視点を踏まえた指導計画・教材等の整備、授業改善の推進を図る。

■「いのちの授業」「がん教育」の発信

・実践校の取組を西濃管内の小・中・義務教育学校へ広げる。

※西濃教育事務所 HP 掲載

■市町(組合)教育委員会との連携

・教育長会や市町(組合)教育委員会の担当者との連絡会で、「ぎふ、いのちの教育」に関わる実践、「SOSの出し方教育(SC活用)」「夢や目標を語る取組」「あったかい言葉かけ運動」等の好事例を紹介する。

※西濃教育事務所 HP 掲載

・いじめ対策連絡会議等で、未然防止・早期発見・早期対応、不登校対応の取組状況を交流する。

■学校職員課訪問

・学校職員課訪問において、管理職・生徒指導主事から取組状況の報告を受け、「ぎふ、いのちの教育」の視点から価値付けや助言を行う。

■生徒指導訪問・研修実施

・生徒指導訪問、生徒指導連携強化委員会、学校警察連携協議会、主幹教諭連絡協議会、特別支援教育連携協議会等の会議において、学校と関係機関が連携し、安全指導、居場所と絆づくり、誰一人取り残さない指導への意識を高める。